

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府大東市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大東市文化財活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>地域の風土に根ざした文化財、伝統文化等の文化的な遺産は、地域の歴史を知る上で貴重な資料であり、財産である。大東市には、だんじり（地車）をはじめとした、地域特有の歴史的・文化的遺産が数多く残されている。地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用しての地域活性化を推進するため、「大東市伝統文化活性化実行委員会」を中心に、後継者養成事業や用具等整備事業等を実施し、その成果を市内外に広く発信することにより、本市全体の発展と、市民の郷土愛を育むことを目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>大東市伝統文化活性化実行委員会を中心に各補助事業を実施する。なお、大東市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課が実行委員会の事務及び、各補助事業に係る指導等を行う。</p> <p>■大東市伝統文化活性化実行委員会（平成29年度会長：川井 晃一） ■大東市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課（事務局）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 25,512 千円	平成29年度申請額： 1,690 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業の実施により、市民の地域に受け継がれてきた伝統的祭礼行事や、文化財に対する関心、意識が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への確実な継承とともに、地域コミュニティの発展と活性化が期待できる。また、修繕をおこなった地車や太鼓等の用具を活用した行事を実施することで、市内外から祭礼行事への来場者呼び込み、「大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において目標としている休日交流人口の増加（平成26年度：108,375人→平成31年度：111,800人）にも寄与することが期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>大東市では、平成27年度に「大東市歴史的資源活用基本方針」を策定し、市域の多種多様な文化財を魅力ある歴史的資源としてまちづくりに積極的に活用していくことを目標としている。</p> <p>本計画の実施により、祭礼行事等の文化遺産を将来にわたって継承していく基盤を強化するとともに、市民の文化遺産に対する関心を喚起することで、「歴史文化基本構想」の策定に向けた機運を高め、計画終了後の平成34年度から「歴史文化基本構想」策定に向けた作業に着手する見込みである。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大東市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	大東市内における祭礼行事の保存会（地車保存会）団体数			関連事業:	①②③④	
目標値 1 :	平成 28 年度		31 団体	⇒	平成 33 年度 31 団体	
設定根拠 1 :	大東市の人口は、減少傾向（平成22年：12万7千人→平成27年：12万3千人）にあるが、今後も各地域の特色ある祭礼行事を継承していく必要があることから、保存団体数の維持を目標とする。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	野崎第一地区文化遺産活性化事業	実施団体：	野崎第一地車保存会				
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	野崎地区の氏神・南條神社秋まつりの地車曳行時に演奏され、江戸時代中期より伝承されている南條太鼓を継承するため、毎月1回以上、講師を招いて太鼓・鉦の拍子の講習会を開き、地域の若者層を集め、太鼓の面白さ・奥深さを知ってもらう事で、伝承者（将来の演奏者）の養成を行う。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	野崎第一地車保存会の会員数						
目標値：	平成 28 年度		161 人		⇒	平成 33 年度	193 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		
事業②：	寺川地区文化遺産活性化事業	実施団体：	寺川地車保存会				
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	寺川地区の氏神大谷神社の祭礼時に披露される大谷太鼓の継承を目的とした後継者養成事業を実施する。対象は中学生～大人まで。太鼓の練習を通じて会員相互の親睦をはかり、祭りに参加しやすい体制づくりを整備することで、地域の活性化に寄与することを目指す。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	寺川地車保存会の会員数						
目標値：	平成 28 年度		198 人		⇒	平成 33 年度	230 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		
事業③：	須波麻神社御祭礼次世代継承及び地域活性化事業	実施団体：	中垣内地車保存会				
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	中垣内地区の氏神・須波麻神社の秋祭りの際に演奏される須波麻太鼓の伝承と将来の指導者の養成を目的とする後継者養成事業を行う。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	中垣内地車保存会の会員数						
目標値：	平成 28 年度		430 人		⇒	平成 33 年度	440 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		

事業④：	御供田地域の地車を活かした地域活性化事業				実施団体：	八幡神社奉賛会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	御供田地区の氏神・八幡神社祭礼時に披露する太鼓の修理を平成29年度に実施し、修理後は後継者育成事業を実施し、保存会参加人員の増加と地域の活性化を図る。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	八幡神社奉賛会の会員数						
目標値：	平成 28 年度		180 人		⇒ 平成 33 年度		200 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人	人	